

NAVERプレスリリース

NAVER JAPANの公式報道発表資料です。
本資料は公式ブログ(<http://naverland.naver.jp>)でも確認できます。



日本ユーザビリティ界のリーダーが語る、ユーザーエクスペリエンスと検索

“ユーザーエクスペリエンス＝「おもてなし」ではない”

“NAVERには「ハッピー体験」が必要”

インターネット検索サービス「NAVER（ネイバー）」（<http://www.naver.jp>）を運営するネイバージャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：森川亮、以下ネイバージャパン）は、社外の有識者よりNAVERのサービス・運営に関する評価、およびこれに基づく助言・提言をいただく場である「NAVER アドバイザリーボード」（<http://advisory.naver.jp/>）にて、本日インタビューを公開いたしましたのでお知らせいたします。

第6回目となる今回は、ユーザビリティ研究者の黒須 正明氏です。日本のユーザビリティ分野の第一人者であり、JIS や ISO でのユーザビリティ関連規格の策定に従事、関連著書・訳書も多数お持ちである黒須先生より、ユーザビリティ・ユーザーエクスペリエンス（UX）の観点から、NAVER のサービスについてのレビュー・評価や、検索における文化性などについて語っていただきました。

【インタビューサマリー】

- ✓ “ユーザーエクスペリエンス＝「おもてなし」ではない”
- ✓ “ユーザーエクスペリエンスと伝統・文化の関係性”
- ✓ “NAVERには「ハッピー体験」が必要”

インタビューの詳細については、<http://advisory.naver.jp/> をご覧ください。

【黒須 正明氏 略歴】

1978年早稲田大学大学院博士課程単位取得満期退学。同年（株）日立製作所入社、中央研究所に勤務。1988年同社デザイン研究所に異動。1996年より静岡大学情報学部教授。2001年9月、文部科学省メディア教育開発センターに教授として赴任。ヒューマンインタフェース、特にユーザビリティを研究するなかから、ユーザー工学や人工物発達学を提唱するに至った。現在、学校法人放送大学 メディア活用・遠隔教育センター 教授、国立大学法人総合研究大学院大学 学長特別補佐、文化科学研究科 メディア社会文化専攻 教授



NAVER では、今後も業界内外の著名人やジャーナリストなどオピニオンリーダーの方々からも定期的に客観的かつ忌憚の無い助言・提言を頂くことで、更なるサービスの利便性向上、およびより多くのユーザーの皆様に愛される検索サービスの実現を目指します。

NAVER アドバイザリーボードの概要

■名称：NAVER アドバイザリーボード

■URL：<http://advisory.naver.jp/>

■目的：

- 社外の有識者による助言・提言を通じたサービスの利便性向上

■概要：

- 社外の有識者の方々より、NAVER のサービス・運営に関する評価、およびこれに基づく助言・提言をいただく場

■運営：毎月1回

■過去のアドバイザリーボード参加者：

第一回：株式会社ニワンゴ取締役・2ちゃんねる元管理人 ひろゆき氏（西村博之氏）

<http://advisory.naver.jp/1/>

第二回：アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 代表取締役社長 徳力基彦氏

<http://advisory.naver.jp/2/>

第三回：ピクシブ株式会社 代表取締役社長 片桐孝憲氏

<http://advisory.naver.jp/3/>

第四回：アカデミック・リソースガイド株式会社 代表取締役 岡本真氏

<http://advisory.naver.jp/4/>

第五回：IT ジャーナリスト 林信行氏

<http://advisory.naver.jp/5/>



■ネイバージャパンについて

ネイバージャパン株式会社は、検索シェア世界第5位の検索サービス「NAVER.com」を運営するNHN Corporationが日本での検索事業を推進するために2007年11月に設立した日本現地法人です。「探しあう検索」をコンセプトに2009年7月1日よりオープンβサービスを開始。ユーザー参加型検索「NAVER まとめ」を中心に多彩なサービスを展開しています。詳細は <http://corp.naver.jp/> をご覧ください。

【本件に関する報道関係お問い合わせ先】

ネイバージャパン株式会社

担当：矢嶋（やじま）、金子（かねこ）

Tel: 070-6967-1302 /1303

E-mail: press@naver.jp